

# 短大生活ナビ

愛知みずほ短期大学

令和6年度版



Aichi Mizuho Junior College

学籍番号

氏名

# 1年生 2024（令和6）年度生 生活学科 生活文化専攻 養護教諭コース 教育課程

## 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに学校教育を理解し、養護教諭の果たす役割を追究する姿勢の育成
- (2) 子どもの心身の健康・安全意識を育てる能力の育成
- (3) 子どもや子ども集団の健康問題に対処できる実践力の習得

## 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）  
と専門教育科目から44単位以上（必修科目●印12単位を含む。）  
の合計62単位以上を修得することが必要  
かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

## 3 養護教諭二種免許状

養護教諭二種免許状を取得しようとする者は、養護教諭二種免許状取得のために  
必要な単位（ヨ印）を修得しなければならない。

## 4 教育課程

授業科目	単位数 (時間数)	1年		2年		卒業 要件	養護教諭 免許要件	備考
		前期	後期	前期	後期			
○技法知科目群								
みずほ教養演習	2(30)	○				●		
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●		
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●		
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●		
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●		
情報リテラシー	2(30)	○				●	ヨ	
○学問知科目群								
暮らしのなかの心理学	2(30)			○				
身近な科学	2(30)	○						
○身体文化科目群								
健康・スポーツ科学	1(15)				□		ヨ	
スポーツ	1(30)				○		ヨ	
○社会的教育科目群								
日本語表現	2(30)	○						
身近な統計学	2(30)	○				●		
クリエイティブデザイン	2(30)		○					
英語コミュニケーション	2(30)				○		ヨ	
暮らしのなかの憲法	2(30)				○		ヨ	
○連携開設科目群								
データサイエンス	2(30)		○					
笑い与健康	2(30)		○					
市民社会論	2(30)				○			
ESD入門	2(30)	○						
人間と社会	2(30)	○						
現代社会のマネジメント	2(30)			○				

共通科目…卒業要件18単位以上

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業要件	養護教諭 免許要件	備考
		前期	後期	前期	後期			
生活文化論	2(30)			○		●		
人間関係論	2(30)				○	●		
生活経営論	2(30)		○			●		
食品衛生学	2(30)				○	●		
栄養学（食品学を含む。）	2(30)			○			☐	
学校救急看護Ⅰ	2(60)	○○					☐	
学校救急看護Ⅱ	2(30)				○		☐	
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	2(30)	○				●	☐	
解剖・生理学	2(30)	○					☐	
精神保健	2(30)			○		●	☐	
看護概論	2(30)	○					☐	
看護技術の基礎	2(60)		○○				☐	
小児保健	2(30)		○					
臨床実習	2(90)		○○○				☐	
薬理概論	2(30)		○				☐	
養護概説	2(30)		○				☐	
健康相談活動の理論及び方法	2(60)		○○				☐	
学校保健（学校安全を含む。）	2(60)	○○					☐	
発達心理学	2(30)		○					
養護実践演習（保健管理）	1(30)			○				
養護実践演習（保健教育）	1(30)			○				
養護実践演習（保健組織活動）	1(30)				○			
養護実践演習（保健室経営）	1(30)				○			
養護教諭基礎演習	1(30)	○						
養護教諭開発演習	1(30)		○					
文書デザイン	2(30)	○						
情報社会論	2(30)		○					
Webデザイン演習	2(30)			○				
ファシリテーション	2(30)		○					
情報活用演習（プレゼンテーション）	2(30)		○					
情報活用演習(表計算)	2(30)			○				
情報活用演習（データ整理・解析）	2(30)				○			
保育学	2(30)				○			
食育概論	2(30)			○				
元気な子どもを育てる食事 （食物アレルギーを含む。）	1(15)				□			
基礎造形	2(30)			○				
女性学	2(30)		○					
社会福祉論	2(30)				○			
比較食物学	2(30)				○			
フードコーディネート論	2(30)			○				
調理実習Ⅰ	1(45)			○○				
調理実習Ⅱ	1(45)				○○			
食文化論	2(30)			○				
食生活論	2(30)			○				
社会実践	1(30)		○					

専門教育科目…卒業要件44単位以上

□教職専門科目（卒業単位に算入しない。）

授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		養護教諭 免許要件	備考
			前期	後期	前期	後期		
教 職 専 門 科 目	教育原理	1(15)	□				☒	
	教師論	2(30)	○				☒	
	教育行政	1(15)		□			☒	
	教育心理学	2(30)	○				☒	
	特別支援教育概論	1(15)	□				☒	
	教育課程論	1(15)		□			☒	
	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	○				☒	
	教育方法	1(15)			□		☒	
	生徒指導の理論と実践	1(15)	□				☒	
	教育相談の理論と実践	1(15)		□			☒	
	教職実践演習（養護教諭）	2(30)				○	☒	
	養護実習（事前・事後指導を含む。）	4(150)		□ (18H)	○○○ (120H)	□ (12H)	☒	

# 1年生 2024（令和6）年度生

## 生活学科 生活文化専攻 オフィス総合コース 教育課程

### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに職業人として求められる幅広い教養と豊かな人間性の育成
- (2) 多様化するビジネス社会で幅広く活躍できる実務力の習得
- (3) 資格取得に積極的にチャレンジする意欲・活力の育成

### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）と  
 専門教育科目から44単位以上（必修科目●印12単位を含む。）の合計62単位以上を  
 修得することが必要

かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

### 3 教育課程

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	備考
		前期	後期	前期	後期		
○技法知科目群							
みずほ教養演習	2(30)	○				●	
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●	
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●	
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●	
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●	
情報リテラシー	2(30)	○				●	
○学問知科目群							
暮らしのなかの心理学	2(30)			○			
身近な科学	2(30)	○					
○身体文化科目群							
健康・スポーツ科学	1(15)				□		
スポーツ	1(30)				○		
○社会的教育科目群							
日本語表現	2(30)	○					
身近な統計学	2(30)	○				●	
クリエイティブデザイン	2(30)		○				
英語コミュニケーション	2(30)				○		
暮らしのなかの憲法	2(30)				○		
○連携開設科目群							
データサイエンス	2(30)		○				
笑い与健康	2(30)		○				
市民社会論	2(30)				○		
ESD入門	2(30)	○					
人間と社会	2(30)	○					
現代社会のマネジメント	2(30)			○			

共通科目…卒業要件18単位以上

授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	備考
			前期	後期	前期	後期		
必 修 科 目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	2(30)	○				●	
	生活経営論	2(30)		○			●	
	人間関係論	2(30)				○	●	
	精神保健	2(30)			○		●	
	生活文化論	2(30)			○		●	
	食品衛生学	2(30)				○	●	
専 門 教 育 科 目	秘書総論	2(30)	○					
	秘書実務Ⅰ	1(30)		○				
	秘書実務Ⅱ	1(30)		○				
	ビジネス実務演習	2(30)			○			
	文書デザイン	2(30)	○					
	情報社会論	2(30)		○				
	マーケティング基礎論	2(30)			○			
	マーケティング実践	2(30)				○		
	ファシリテーション	2(30)		○				
	情報活用演習（プレゼンテーション）	2(30)		○				
	情報活用演習(表計算)	2(30)			○			
	情報活用演習（データ整理・解析）	2(30)				○		
	メディア実践	2(30)	○					
	Webデザイン演習	2(30)			○			
	簿記会計Ⅰ	1(30)		○				
	簿記会計Ⅱ	1(30)			○			
	社会人基礎論	2(30)	○					
	仕事と人生	2(30)	○					
	社会実践	1(30)		○				
	基礎造形	2(30)				○		
	食生活論	2(30)			○			
	食文化論	2(30)			○			
	食育概論	2(30)			○			
	元気な子どもを育てる食事（食物アレルギーを含む。）	1(15)				□		
	栄養学（食品学を含む。）	2(30)			○			
	フードコーディネート論	2(30)			○			
	調理学	2(30)			○			
	調理実習Ⅰ	1(45)			○□			
	調理実習Ⅱ	1(45)				○□		
	比較食物学	2(30)				○		
	看護概論	2(30)	○					
	小児保健	2(30)		○				
	保育学	2(30)				○		
	学校救急看護Ⅰ	2(60)	○○					
解剖・生理学	2(30)	○						
薬理概論	2(30)		○					
女性学	2(30)		○					
社会福祉論	2(30)				○			

# 1年生 2024（令和6）年度生 生活学科 食物栄養専攻 教育課程

## 1 教育目標

- (1) 知性と教養と健全な心身を兼ね備え、科学的思考力のある栄養士の育成
- (2) 食品や栄養についての専門知識の習得
- (3) 第一線で活躍できる実践力の育成

## 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）と専門教育科目から44単位以上（必修科目●印25単位を含む。）の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

## 3 栄養士要件

食物栄養専攻に在籍し、栄養士法および同施行規則ならびに本学が以下により定める栄養士養成に必要な単位（エ印）を修得しなければならない。

## 4 栄養教諭二種免許状要件

栄養教諭二種免許状を取得しようとする者は、栄養教諭二種免許状取得のために必要な単位（㊦印）を修得しなければならない。

## 5 教育課程

授業科目	単位数 (時間数)	1年		2年		卒業要件	栄養士要件	栄養教諭要件	備考
		前期	後期	前期	後期				
○技法知科目群									
みずほ教養演習	2(30)	○				●			
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●			
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●			
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●			
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●			
情報リテラシー	2(30)	○				●		㊦	
○学問知科目群									
暮らしのなかの心理学	2(30)			○					
身近な科学	2(30)	○							
○身体文化科目群									
健康・スポーツ科学	1(15)				㊦			㊦	
スポーツ	1(30)				○			㊦	
○社会的教育科目群									
日本語表現	2(30)	○							
身近な統計学	2(30)	○				●			
クリエイティブデザイン	2(30)	○							
英語コミュニケーション	2(30)				○			㊦	
暮らしのなかの憲法	2(30)				○			㊦	
○連携開設科目群									
データサイエンス	2(30)		○						
笑い与健康	2(30)		○						
市民社会論	2(30)				○				
ESD入門	2(30)	○							
人間と社会	2(30)	○							
現代社会のマネジメント	2(30)			○					

共通科目…卒業要件18単位以上

授業科目	単位 (時間数)	1年		2年		卒業要件	栄養士要件	栄養教諭要件	備考
		前期	後期	前期	後期				
専門教育科目 栄養士資格科目 健康と社会 生活と健康 人体の機能構造	公衆衛生学	2(30)			○	●	エ		
	社会福祉論	2(30)			○		エ		
	解剖・生理学	2(30)		○			●	エ	
	解剖・生理学実験	1(45)		○	㊦			エ	
	生化学	2(30)	○				●	エ	

授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	栄養士 要件	栄養教諭 要件	備考
			前期	後期	前期	後期				
専 門 教 育 科 目	人 体 の 機 能 構 造	生化学実験	1(45)		○□				工	
		運動生理学	2(30)				○		工	
		栄養生理学	2(30)						工	
	衛 生	食品学総論	2(30)	○					工	
		食品学各論 (食品加工学を含む。)	2(30)		○			●	工	
	食 品 と 衛 生	食品学実験	1(45)				○□		工	
		食品衛生学	2(30)			○		●	工	
		食品衛生学実験	1(45)			○□			工	
	栄 養 と 健 康	栄養学総論	2(30)	○					工	
		栄養学各論	2(30)		○			●	工	
		栄養学各論実習	1(45)			○□			工	
		臨床栄養学総論	2(30)		○			●	工	
		臨床栄養学各論	2(30)			○		●	工	
		臨床栄養学実習	1(45)			○□			工	
		栄養指導論	2(30)		○			●	工	
	栄 養 の 指 導	栄養指導論実習	2(90)			○	○○		工	
		実践栄養指導演習	2(30)		○				工	
		公衆栄養学	2(30)				○		工	
		調理学	2(30)	○				●	工	
	給 食 の 運 営	調理実習Ⅰ	2(90)	○□	○□				工	
		調理実習Ⅱ	1(45)				○□		工	
		給食計画論	2(30)	○					工	
		給食実務論	2(30)		○				工	
		給食管理実習 (学内)	2(90)			○○○			工	
		給食管理実習 (校外)	1(45)			○□			工	
	教職資格科目	学校栄養教育概論	2(30)		○					Ⓘ
	生活経営論	2(30)	○					●		
	人間関係論	2(30)				○		●		
	食品加工学実習	1(30)				○		●		
	食物アレルギー (対応食を含む。)	1(15)				□				
社会実践	1(30)				○					
保育学	2(30)				○					
薬理概論	2(30)		○							
食料経済	2(30)				○					
フードコーディネート論	2(30)				○					
フードスペシャリスト論	2(30)				○					
食品官能評価・鑑別論 (統計処理を含む。)	2(60)				○○					

□教職専門科目 (卒業単位に算入しない。)

授 業 科 目		単位 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	栄養士 要件	栄養教諭 要件	備考	
			前期	後期	前期	後期					
教 職 専 門 科 目	教育原理	1(15)	□							Ⓘ	
	教師論	2(30)	○							Ⓘ	
	教育行政	1(15)		□						Ⓘ	
	教育心理学	2(30)	○							Ⓘ	
	特別支援教育概論	1(15)	□							Ⓘ	
	教育課程論	1(15)		□						Ⓘ	
	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	○							Ⓘ	
	教育方法	1(15)			□					Ⓘ	
	生徒指導の理論と実践	1(15)	□							Ⓘ	
	教育相談の理論と実践	1(15)		□						Ⓘ	
	教職実践演習 (栄養教諭)	2(30)					○			Ⓘ	
	栄養教育実習 (事前・事後指導を含む。)		2(60)								Ⓘ
											Ⓘ



# 1年生 2024（令和6）年度生

## 現代幼児教育学科 教育課程

### 1. 教育目標

- (1) 保育者としての責任や役割を自覚し、社会に貢献できる人材の育成
- (2) 科学的思考により磨かれた視野と豊かな人間性を備えた保育者の育成
- (3) 現代的課題に対応できる専門的知識と保育実践力の習得

### 2. 卒業要件

共通科目10単位以上（必修科目●印10単位）と、専門教育科目52単位以上（必修科目●印16単位を含む。）の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

### 3. 保育士資格要件

保育士資格を取得しようとする者は現代幼児教育学科に在籍し、児童福祉法および同法施行規則ならびに本学が以下により定める必要な単位（保印必修、（保）印選択必修6単位以上）を修得しなければならない。

### 4. 幼稚園教諭二種免許状資格要件

幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、幼稚園教諭二種免許状取得のために必要な単位（幼印必修）を修得しなければならない。

### 5. 教育課程

授業科目	単位数 (時間数)	1年		2年		卒業 要件	保育士	幼免 二種	備考
		前期	後期	前期	後期				
○技法知科目群									
みずほ教養演習	2(30)	○				●			
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●	保		
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●	保		
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●	保		
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●	保		
情報リテラシー	2(30)	○				●		幼	
○学問知科目群									
暮らしのなかの心理学	2(30)	○							
身近な科学	2(30)	○							
○身体文化科目群									
健康・スポーツ科学	1(15)		□				保	幼	
スポーツ	1(30)	○					保	幼	
○社会的教育科目群									
日本語表現	2(30)	○							
身近な統計学	2(30)		○			●			
クリエイティブデザイン	2(30)		○						
英語コミュニケーション	2(30)	○					保	幼	
暮らしのなかの憲法	2(30)	○					保	幼	
○連携開設科目群									
データサイエンス	2(30)		○						
笑い与健康	2(30)		○						
市民社会論	2(30)		○						
ESD入門	2(30)	○					(保)		
人間と社会	2(30)	○							
現代社会のマネジメント	2(30)			○					

共通科目…卒業要件10単位以上

専門教育科目

授 業 科 目	単 位 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	保育士	幼児 二種	備考
		前期	後期	前期	後期				
保育原理	2(30)	○				●	保		
教育基礎論	2(30)	○				●	保	幼	
子ども家庭福祉	2(30)		○				保		
社会福祉	2(30)	○					保		
子ども家庭支援論	2(30)				○		保		
社会的養護Ⅰ	2(30)		○				保		
現代教職論	2(30)	○					保	幼	
比較幼児教育論	2(30)				○		(保)		
保育の心理学	2(30)		○			●	保		
子ども家庭支援の心理学	2(30)				○		保		
子どもの理解と援助	1(15)		□				保		
子どもの保健	2(30)		○			●	保		
子どもの食と栄養	2(30)			○			保		
教育心理学	2(30)	○					(保)	幼	
保育の計画と評価	2(30)			○			保		
保育内容総論	1(15)	□				●	保	幼	
環境	1(15)		□				保	幼	
言葉	1(30)	○					保	幼	
健康	1(30)		○			●	保	幼	
表現	1(30)	○					保	幼	
人間関係	1(30)	○					保	幼	
保育内容指導法(環境)	1(30)			○			保	幼	
保育内容指導法(言葉)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(健康)	1(30)			○			保	幼	
保育内容指導法(表現Ⅰ)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(表現Ⅱ)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(人間関係)	1(30)		○				保	幼	
乳児保育Ⅰ	2(30)	○					保		
乳児保育Ⅱ	1(30)		○				保		
子どもの健康と安全	1(30)				○		保		
特別支援教育・保育	2(30)			○		●	保	幼	
社会的養護Ⅱ	1(15)				□		保		
子育て支援	1(15)				□		保		
教育方法	2(30)			○			(保)	幼	
音楽	2(60)	○	○				(保)		
子どもの質問に答える理科	2(30)		○				(保)		
児童文化	2(30)				○		(保)		
幼児理解の理論と教育相談	2(30)			○		●	(保)	幼	
幼児教育課程論	2(30)		○			●	(保)	幼	
保育実習Ⅰ(保育所)	2(80)		○				保		
保育実習Ⅰ(施設)	2(80)			○			保		
保育実習Ⅱ	2(80)				○		保		
保育実習指導Ⅰ(保育所)	1(30)		○				保		
保育実習指導Ⅰ(施設)	1(30)			○			保		
保育実習指導Ⅱ	1(30)				○		保		
保育・教職実践演習(幼稚園)	2(30)				○		保	幼	
創造活動Ⅰ	1(30)			○					
創造活動Ⅱ	1(30)				○				
子どもの遊びと健康Ⅰ	2(30)	○							
子どもの遊びと健康Ⅱ	2(30)		○						
保育実践	1(30)	○							
教育実習 ※事前事後指導1単位(30H)を含む。	5(150)			○				幼	

専門教育科目…卒業要件52単位以上

## 2年生 2024（令和6）年度生 生活学科 生活文化専攻 養護教諭コース 教育課程

### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに学校教育を理解し、養護教諭の果たす役割を追究する姿勢の育成
- (2) 子どもの心身の健康・安全意識を育てる能力の育成
- (3) 子どもや子ども集団の健康問題に対処できる実践力の習得

### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）  
と専門教育科目から44単位以上（必修科目●印12単位を含む。）  
の合計62単位以上を修得することが必要  
かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

### 3 養護教諭二種免許状

養護教諭二種免許状を取得しようとする者は、養護教諭二種免許状取得のために  
必要な単位（ヨ印）を修得しなければならない。

### 4 教育課程

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	養護教諭 免許要件	備考
		前期	後期	前期	後期			
○技法知科目群								
みずほ教養演習	2(30)	○				●		
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●		
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●		
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●		
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●		
情報リテラシー	2(30)	○				●	ヨ	
○学問知科目群								
暮らしのなかの心理学	2(30)			○				
身近な科学	2(30)	○						
○身体文化科目群								
健康・スポーツ科学	1(15)				□		ヨ	
スポーツ	1(30)				○		ヨ	
○社会的教育科目群								
日本語表現	2(30)	○						
身近な統計学	2(30)	○				●		
クリエイティブデザイン	2(30)		○					
英語コミュニケーション	2(30)				○		ヨ	
暮らしのなかの憲法	2(30)				○		ヨ	
○連携開設科目群								
データサイエンス	2(30)		○					
笑いと健康	2(30)		○					
市民社会論	2(30)				○			
ESD入門	2(30)	○						
人間と社会	2(30)	○						
現代社会のマネジメント	2(30)			○				

共通科目…卒業要件18単位以上

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業要件	養護教諭 免許要件	備考
		前期	後期	前期	後期			
生活文化論	2(30)			○		●		
人間関係論	2(30)				○	●		
生活経営論	2(30)		○			●		
食品衛生学	2(30)				○	●		
栄養学（食品学を含む。）	2(30)			○			☐	
学校救急看護Ⅰ	2(60)	○○					☐	
学校救急看護Ⅱ	2(30)				○		☐	
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	2(30)	○				●	☐	
解剖・生理学	2(30)		○				☐	
精神保健	2(30)			○		●	☐	
看護概論	2(30)	○					☐	
看護技術の基礎	2(60)		○○				☐	
小児保健	2(30)				○			
臨床実習	2(90)		○○○				☐	
薬理概論	2(30)		○				☐	
養護概説	2(30)		○				☐	
健康相談活動の理論及び方法	2(60)		○○				☐	
学校保健（学校安全を含む。）	2(60)	○○					☐	
発達心理学	2(30)		○					
養護実践演習（保健管理）	1(30)			○				
養護実践演習（保健教育）	1(30)			○				
養護実践演習（保健組織活動）	1(30)				○			
養護実践演習（保健室経営）	1(30)				○			
養護教諭基礎演習	1(30)	○						
養護教諭開発演習	1(30)		○					
文書デザイン	2(30)	○						
情報社会論	2(30)	○						
Webデザイン演習	2(30)			○				
ファシリテーション	2(30)		○					
情報活用演習（プレゼンテーション）	2(30)		○					
情報活用演習（表計算）	2(30)			○				
情報活用演習（データ整理・解析）	2(30)				○			
保育学	2(30)				○			
食育概論	2(30)			○				
元気な子どもを育てる食事 （食物アレルギーを含む。）	1(15)				□			
基礎造形	2(30)			○				
女性学	2(30)		○					
社会福祉論	2(30)				○			
比較食物学	2(30)				○			
フードコーディネート論	2(30)			○				
調理実習Ⅰ	1(45)			○□				
調理実習Ⅱ	1(45)				○□			
食文化論	2(30)			○				
食生活論	2(30)			○				
社会実践	1(30)		○					

専門教育科目…卒業要件44単位以上

□教職専門科目（卒業単位に算入しない。）

授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		養護教諭 免許要件	備考
			前期	後期	前期	後期		
教 職 専 門 科 目	教育原理	1(15)	□				☒	
	教師論	2(30)	○				☒	
	教育行政	1(15)		□			☒	
	教育心理学	2(30)	○				☒	
	特別支援教育概論	1(15)	□				☒	
	教育課程論	1(15)		□			☒	
	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	○				☒	
	教育方法	1(15)			□		☒	
	生徒指導の理論と実践	1(15)	□				☒	
	教育相談の理論と実践	1(15)		□			☒	
	教職実践演習（養護教諭）	2(30)				○	☒	
	養護実習（事前・事後指導を含む。）	4(150)		□ (18H)	○○○ (120H)	□ (12H)	☒	

## 2年生 2024（令和6）年度生

### 生活学科 生活文化専攻 オフィス総合コース 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに職業人として求められる幅広い教養と豊かな人間性の育成
- (2) 多様化するビジネス社会で幅広く活躍できる実務力の習得
- (3) 資格取得に積極的にチャレンジする意欲・活力の育成

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）と  
 専門教育科目から44単位以上（必修科目●印12単位を含む。）の合計62単位以上を  
 修得することが必要

かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 教育課程

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	備考
		前期	後期	前期	後期		
○技法知科目群							
みずほ教養演習	2(30)	○				●	
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●	
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●	
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●	
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●	
情報リテラシー	2(30)	○				●	
○学問知科目群							
暮らしのなかの心理学	2(30)			○			
身近な科学	2(30)	○					
○身体文化科目群							
健康・スポーツ科学	1(15)				□		
スポーツ	1(30)				○		
○社会的教育科目群							
日本語表現	2(30)	○					
身近な統計学	2(30)	○				●	
クリエイティブデザイン	2(30)		○				
英語コミュニケーション	2(30)				○		
暮らしのなかの憲法	2(30)				○		
○連携開設科目群							
データサイエンス	2(30)		○				
笑い与健康	2(30)		○				
市民社会論	2(30)				○		
ESD入門	2(30)	○					
人間と社会	2(30)	○					
現代社会のマネジメント	2(30)			○			

共通科目…卒業要件18単位以上

授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	備考
			前期	後期	前期	後期		
必 修 科 目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	2(30)	○				●	
	生活経営論	2(30)		○			●	
	人間関係論	2(30)				○	●	
	精神保健	2(30)			○		●	
	生活文化論	2(30)			○		●	
	食品衛生学	2(30)				○	●	
専 門 教 育 科 目	秘書総論	2(30)	○					
	秘書実務Ⅰ	1(30)		○				
	秘書実務Ⅱ	1(30)		○				
	ビジネス実務演習	2(30)			○			
	文書デザイン	2(30)	○					
	情報社会論	2(30)	○					
	マーケティング基礎論	2(30)			○			
	マーケティング実践	2(30)				○		
	ファシリテーション	2(30)		○				
	情報活用演習（プレゼンテーション）	2(30)		○				
	情報活用演習（表計算）	2(30)			○			
	情報活用演習（データ整理・解析）	2(30)				○		
	メディア実践	2(30)	○					
	Webデザイン演習	2(30)			○			
	簿記会計Ⅰ	1(30)		○				
	簿記会計Ⅱ	1(30)			○			
	社会人基礎論	2(30)	○					
	仕事と人生	2(30)	○					
	社会実践	1(30)		○				
	基礎造形	2(30)				○		
	食生活論	2(30)			○			
	食文化論	2(30)			○			
	食育概論	2(30)			○			
	元気な子どもを育てる食事（食物アレルギーを含む。）	1(15)				□		
	栄養学（食品学を含む。）	2(30)			○			
	フードコーディネート論	2(30)			○			
	調理学	2(30)			○			
	調理実習Ⅰ	1(45)			○□			
	調理実習Ⅱ	1(45)				○□		
	比較食物学	2(30)				○		
	看護概論	2(30)	○					
	小児保健	2(30)				○		
保育学	2(30)				○			
学校救急看護Ⅰ	2(60)	○○						
解剖・生理学	2(30)		○					
薬理概論	2(30)		○					
女性学	2(30)		○					
社会福祉論	2(30)				○			

## 2年生2024（令和6）年度生 生活学科 食物栄養専攻 教育課程

### 1 教育目標

- (1) 知性と教養と健全な心身を兼ね備え、科学的思考力のある栄養士の育成
- (2) 食品や栄養についての専門知識の習得
- (3) 第一線で活躍できる実践力の育成

### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上（必修科目●印10単位、選択科目8単位以上）と専門教育科目から44単位以上（必修科目●印25単位を含む。）の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

### 3 栄養士要件

食物栄養専攻に在籍し、栄養士法および同施行規則ならびに本学が以下により定める栄養士養成に必要な単位（エ印）を修得しなければならない。

### 4 栄養教諭二種免許状要件

栄養教諭二種免許状を取得しようとする者は、栄養教諭二種免許状取得のために必要な単位（㊦印）を修得しなければならない。

### 5 教育課程

授業科目	単位数 (時間数)	1年		2年		卒業要件	栄養士要件	栄養教諭要件	備考
		前期	後期	前期	後期				
○技法知科目群									
みずほ教養演習	2(30)	○				●			
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●			
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●			
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●			
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●			
情報リテラシー	2(30)	○				●		㊦	
○学問知科目群									
暮らしのなかの心理学	2(30)			○					
身近な科学	2(30)	○							
○身体文化科目群									
健康・スポーツ科学	1(15)				㊦			㊦	
スポーツ	1(30)				○			㊦	
○社会的教育科目群									
日本語表現	2(30)	○							
身近な統計学	2(30)	○				●			
クリエイティブデザイン	2(30)	○							
英語コミュニケーション	2(30)				○			㊦	
暮らしのなかの憲法	2(30)				○			㊦	
○連携開設科目群									
データサイエンス	2(30)		○						
笑い与健康	2(30)		○						
市民社会論	2(30)				○				
ESD入門	2(30)	○							
人間と社会	2(30)	○							
現代社会のマネジメント	2(30)			○					

共通科目…卒業要件18単位以上

授業科目	単位数 (時間数)	1年		2年		卒業要件	栄養士要件	栄養教諭要件	備考	
		前期	後期	前期	後期					
専門教育科目 栄養士資格科目	活社会と健康	公衆衛生学	2(30)			○		●	エ	
	社会福祉論	2(30)			○			エ		
	人体の機能構造	解剖・生理学	2(30)		○			●	エ	
		解剖・生理学実験	1(45)		○	㊦			エ	
	生化学	2(30)	○				●	エ		



授 業 科 目		単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	栄養士 要件	栄養教諭 要件	備考
			前期	後期	前期	後期				
専 門 教 育 科 目	人 体 の 機 能 と 構 造	生化学実験	1(45)		○□			エ		
		運動生理学	2(30)			○	→	エ		
		栄養生理学	2(30)		○			エ		
	衛 生 と 食 品	食品学総論	2(30)	○				エ		
		食品学各論 (食品加工学を含む。)	2(30)		○			●	エ	
	食 品 と 衛 生	食品学実験	1(45)				○□	エ		
		食品衛生学	2(30)			○		●	エ	
		食品衛生学実験	1(45)			○□		エ		
	栄 養 と 健 康	栄養学総論	2(30)	○				エ		
		栄養学各論	2(30)		○			●	エ	
		栄養学各論実習	1(45)			○□		エ		
		臨床栄養学総論	2(30)		○			●	エ	
		臨床栄養学各論	2(30)			○		●	エ	
		臨床栄養学実習	1(45)			○□		エ		
		栄養指導論	2(30)		○			●	エ	
	栄 養 の 指 導	栄養指導論実習	2(90)			○	○○	エ		
		実践栄養指導演習	2(30)		○			エ		
		公衆栄養学	2(30)				○	エ		
		調理学	2(30)	○				●	エ	
	給 食 の 運 営	調理実習Ⅰ	2(90)	○□	○□			エ		
		調理実習Ⅱ	1(45)				○□	エ		
		給食計画論	2(30)	○				エ		
		給食実務論	2(30)		○			エ		
		給食管理実習 (学内)	2(90)			○○○		エ		
		給食管理実習 (校外)	1(45)			○□		エ		
		給食管理実習 (校外)	1(45)			○□		エ		
	教職資格科目	学校栄養教育概論	2(30)		○				(エ)	
生活経営論	2(30)	○				●				
人間関係論	2(30)				○	●				
食品加工学実習	1(30)				○	●				
食物アレルギー (対応食を含む。)	1(15)			□						
社会実践	1(30)				○					
保育学	2(30)				○					
薬理概論	2(30)		○							
食料経済	2(30)				○					
フードコーディネータ論	2(30)				○					
フードスペシャリスト論	2(30)				○					
食品官能評価・鑑別論 (統計処理を含む。)	2(60)					○○				

□教職専門科目 (卒業単位に算入しない。)

授 業 科 目		単 位 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	栄養士 要件	栄養教諭 要件	備考
			前期	後期	前期	後期				
教 職 専 門 科 目	教育原理	1(15)	□						(エ)	
	教師論	2(30)	○						(エ)	
	教育行政	1(15)		□					(エ)	
	教育心理学	2(30)	○						(エ)	
	特別支援教育概論	1(15)	□						(エ)	
	教育課程論	1(15)		□					(エ)	
	道德、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	○						(エ)	
	教育方法	1(15)			□				(エ)	
	生徒指導の理論と実践	1(15)	□						(エ)	
	教育相談の理論と実践	1(15)		□					(エ)	
	教職実践演習 (栄養教諭)	2(30)				○			(エ)	
	栄養教育実習 (事前・事後指導を含む。)	2(60)					事前事後 指導20H 教育実習 40H		(エ)	

# 2年生 2024（令和6）年度生

## 現代幼児教育学科 教育課程

### 1. 教育目標

- (1) 保育者としての責任や役割を自覚し、社会に貢献できる人材の育成
- (2) 科学的思考により磨かれた視野と豊かな人間性を備えた保育者の育成
- (3) 現代的課題に対応できる専門的知識と保育実践力の習得

### 2. 卒業要件

共通科目10単位以上（必修科目●印10単位）と、専門教育科目52単位以上（必修科目●印16単位を含む。）の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

### 3. 保育士資格要件

保育士資格を取得しようとする者は現代幼児教育学科に在籍し、児童福祉法および同法施行規則ならびに本学が以下により定める必要な単位（保印必修、（保）印選択必修6単位以上）を修得しなければならない。

### 4. 幼稚園教諭二種免許状資格要件

幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、幼稚園教諭二種免許状取得のために必要な単位（幼印必修）を修得しなければならない。

### 5. 教育課程

授 業 科 目	単位数 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	保育士	幼免 二種	備考
		前期	後期	前期	後期				
○技法知科目群									
みずほ教養演習	2(30)	○				●			
みずほゼミⅠ	1(30)	○				●	保		
みずほゼミⅡ	1(30)		○			●	保		
みずほゼミⅢ	1(30)			○		●	保		
みずほゼミⅣ	1(30)				○	●	保		
情報リテラシー	2(30)	○				●		幼	
○学問知科目群									
暮らしのなかの心理学	2(30)	○							
身近な科学	2(30)	○							
○身体文化科目群									
健康・スポーツ科学	1(15)		□				保	幼	
スポーツ	1(30)	○					保	幼	
○社会的教育科目群									
日本語表現	2(30)	○							
身近な統計学	2(30)		○			●			
クリエイティブデザイン	2(30)		○						
英語コミュニケーション	2(30)	○					保	幼	
暮らしのなかの憲法	2(30)	○					保	幼	
○連携開設科目群									
データサイエンス	2(30)		○						
笑い与健康	2(30)		○						
市民社会論	2(30)		○						
ESD入門	2(30)	○					(保)		
人間と社会	2(30)	○							
現代社会のマネジメント	2(30)			○					

共通科目…卒業要件10単位以上

専門教育科目

授 業 科 目	単 位 (時間数)	1 年		2 年		卒業 要件	保育士	幼児 二種	備考
		前期	後期	前期	後期				
保育原理	2(30)	○				●	保		
教育基礎論	2(30)	○				●	保	幼	
子ども家庭福祉	2(30)		○				保		
社会福祉	2(30)	○					保		
子ども家庭支援論	2(30)				○		保		
社会的養護Ⅰ	2(30)		○				保		
現代教職論	2(30)	○					保	幼	
比較幼児教育論	2(30)				○		(保)		
保育の心理学	2(30)		○			●	保		
子ども家庭支援の心理学	2(30)				○		保		
子どもの理解と援助	1(15)		□				保		
子どもの保健	2(30)		○			●	保		
子どもの食と栄養	2(30)			○			保		
教育心理学	2(30)	○					(保)	幼	
保育の計画と評価	2(30)			○			保		
保育内容総論	1(15)	□				●	保	幼	
環境	1(15)		□				保	幼	
言葉	1(30)	○					保	幼	
健康	1(30)	○	○			●	保	幼	
表現	1(30)	○					保	幼	
人間関係	1(30)	○					保	幼	
保育内容指導法(環境)	1(30)			○			保	幼	
保育内容指導法(言葉)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(健康)	1(30)		○	○			保	幼	
保育内容指導法(表現Ⅰ)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(表現Ⅱ)	1(30)		○				保	幼	
保育内容指導法(人間関係)	1(30)		○				保	幼	
乳児保育Ⅰ	2(30)	○					保		
乳児保育Ⅱ	1(30)		○				保		
子どもの健康と安全	1(30)				○		保		
特別支援教育・保育	2(30)			○		●	保	幼	
社会的養護Ⅱ	1(15)				□		保		
子育て支援	1(15)				□		保		
教育方法	2(30)			○			(保)	幼	
音楽	2(60)	○	○				(保)		
子どもの質問に答える理科	2(30)		○				(保)		
児童文化	2(30)				○		(保)		
幼児理解の理論と教育相談	2(30)			○		●	(保)	幼	
幼児教育課程論	2(30)		○			●	(保)	幼	
保育実習Ⅰ(保育所)	2(80)		○				保		
保育実習Ⅰ(施設)	2(80)			○			保		
保育実習Ⅱ	2(80)				○		保		
保育実習指導Ⅰ(保育所)	1(30)		○				保		
保育実習指導Ⅰ(施設)	1(30)			○			保		
保育実習指導Ⅱ	1(30)				○		保		
保育・教職実践演習(幼稚園)	2(30)				○		保	幼	
創造活動Ⅰ	1(30)			○					
創造活動Ⅱ	1(30)				○				
子どもの遊びと健康Ⅰ	2(30)	○							
子どもの遊びと健康Ⅱ	2(30)		○						
保育実践	1(30)	○							
教育実習 ※事前事後指導1単位(30H)を含む。	5(150)			○				幼	

専門教育科目…卒業要件52単位以上

# 令和5年度 愛知みずほ大学からの 単位互換提供科目

短期大学の学生が、愛知みずほ大学の授業科目を履修し、修得した単位を短期大学の単位として認定する制度です。令和6年度における愛知みずほ大学からの単位互換科目は、以下のとおりです。短期大学にはない授業科目が提供され、知的な関心や興味に応じた授業が受講できます。受講者は、講義開始1週間以内に事務局において手続きを行ってください。

共通科目は、受講人数に制限があり、申し出順により受け付けします。

教科書を購入していただく科目もありますが、受講料は無料です。全て対面授業により行います。

科目名	担当者	学期	曜日	時限
英語コミュニケーション（中級会話）	榊原 アイリン	前期	金	3
		後期	金	2
英語コミュニケーション（上級会話）	榊原 アイリン	前期	金	2
中国語入門	虞 萍	前期	月	1
韓国語入門	金 由那	前期	金	5
		後期	金	5

## ルーブリック（成績評価）

### 【レポート】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
提出様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの書式が守られている。</li> <li>字数制限が守られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの書式がおおよそ守られている。</li> <li>字数制限が少し守られていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの書式が守られていない。</li> <li>字数制限が守られていない。</li> </ul>
文章表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字がない。</li> <li>語彙が適切に使われている。</li> <li>主語・述語が対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字が少しある。</li> <li>語彙が適切に使われていないところがある。</li> <li>主語・述語が対応していないところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字が多い。</li> <li>語彙が適切に使われていない。</li> <li>主語・述語が対応していない。</li> </ul>
論理性	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づいて、正確な説明ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づいて、正確な説明ができていないところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠に基づいて、正確な説明ができていない。</li> </ul>
内容の質	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して適切な回答内容である。</li> <li>論旨が明確である。</li> <li>オリジナリティがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して適切な回答内容ではないところがある。</li> <li>論旨が明確ではないところがある。</li> <li>オリジナリティがあるとはいえない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して適切な回答内容でない。</li> <li>論旨が不明確である。</li> <li>オリジナリティがない。</li> </ul>
提出期限	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限が守られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限が守られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出期限が守られなかった。</li> </ul>

### 【実験レポート】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
〔記述方法〕 ●適正な時制による表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的（現在形）と方法（過去形）の両方が、適正な時制で表現されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的（現在形）と方法（過去形）のどちらかの時制が不適正な表現である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的（現在形）と方法（過去形）の両方が不適正な時制で表現されている。</li> </ul>
●小論文にそった表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き言葉、「だ、である」調で簡潔に表現されている。その際、体言止めや倒置法を用いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き言葉、「だ、である」調ではあるが簡潔性が欠ける。その際、体言止めや倒置法を用いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き言葉、「だ、である」調の表現がなされておらず、簡潔性も欠ける。</li> </ul>
●基礎的理解（目的、方法の把握）	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的と方法の関係に対する理解が充分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的と方法の関係に対する理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的と方法に対する理解ができていない。</li> </ul>
●発展的理解（結果、考察）	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な結果に対し、解釈が適正である。</li> <li>不適正な結果ではあるが、その結果に対し、解釈が合理的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な結果に対し、解釈が不十分である。</li> <li>不適正な結果への解釈が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な結果に対し、解釈が不適正である。</li> <li>不適正な結果への解釈が不適正である。</li> </ul>

【グループワーク】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
調査と情報収集	・ 基礎的な情報収集がされている。	・ 話題に関連する情報収集があまりない。	・ 話題に関連する情報が全くない。
情報共有	・ 多くの話題に関連した基礎的な情報がある程度伝達している。	・ 話題に関係する情報を一部伝達している。	・ メンバーに情報を全く伝達していない。
議論への参加	・ 積極的に自分の意見を述べ、他のメンバーの意見も尊重して聞く。	・ うなずく等、他のメンバーの意見を聞く姿勢がみられるが、自分の意見を積極的に述べない。	・ 議論に全く参加しない。
グループ活動への取り組み	・ メンバー間でのコミュニケーションが十分にとれており、メンバーとしての役割を果たしている。	・ メンバー間でのコミュニケーションがとれているが、ほとんど役割を果たさない。	・ メンバー間でのコミュニケーションがとれておらず、決められた役割を果たしていない。

【プレゼンテーション】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
内容・構成	・ 内容の構成が分かりやすく、理解しやすい。 ・ 重要なポイントが強調されている。	・ 内容の構成に改善の余地が若干あり、理解しにくい部分がある。 ・ ポイントがやや不明瞭である。	・ 内容の構成が分かりにくく、理解しづらい。 ・ ポイントが不明瞭である。
発表姿勢	・ 発表全体を通して、聴衆を見ている。 ・ 教室全体に声が届いており、内容がよく聞き取れる。 ・ やる気、人を動かす熱意も十分表現されている。	・ 発表中に、聴衆を見ていないことが時々ある。 ・ 教室全体に声が届いているが、時々、内容が聞き取れないことがある。 ・ やる気がないわけではないが、人を動かすほどの熱意にまでは表現されていない。	・ 発表全体を通して、聴衆を見ていないことが多い。 ・ 教室全体に声が届かず、端では内容がよく聞き取れない。 ・ やる気が表現されておらず、淡々と発表をこなしているように見える。
資料	・ 文字は、読みやすい。 ・ 絵や図は関心をひきつけ、プレゼンテーションのテーマや内容を引き立たせている。	・ 文字は、内容を補うために注意深く書かれているが、やや読みにくいところがある。 ・ 絵や図は、関心をひきつけているが、プレゼンテーションのテーマや内容とは関連性が弱い。	・ 文字は、内容を読み取りやすいものでない。 ・ いくつかの絵や図は、注意を引くようなものでなくプレゼンテーションの内容との関連性もない。
質疑応答	・ 質問を正確に理解しており、応答が的を射ている。 ・ 応答は誠意のあるものになっており、やりとりが建設的である。	・ 質問を正確に理解しているが、応答が的を射ていない。 ・ 応答は誠意を持ったものになっており、やりとりが建設的である。	・ 質問を正確に理解していないために応答が的を射ていない。 ・ 応答は、質問者や聞き手に不愉快な思いをさせている。
発表時間	・ 発表時間は、規定時間内であり、ぎりぎりまで有効に時間を使っていた。	・ 発表時間は、規定時間内であったが、若干早い時間で終了した。	・ 発表時間は規定時間を過ぎた。もしくは大幅に早い時間で終了した。

DP		評価指標	4	3	2	1
1	科学的思考力を身につける。 (物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)	レポート作成に際し、またグループ活動の結論に対して、調査資料を尊重して考えることができる。	常にできている。	心がけてはいるが、できない時もある。	意識することはある(できる時もある)。	全く意識しない(できない)。
2	自律性を身につける。 (自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)	グループ活動の結論を人任せにしないで、きちんと自分の意見を発言できる。 自分で学修計画を立て、それを達成することができる。	常にできている。	心がけてはいるが、できない時もある。	意識することはある(できる時もある)。	全く意識しない(できない)。
3	科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。 (課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)	一つの課題に対し、複数の答えを見つけることができる。	常にできている。	心がけてはいるが、できない時もある。	意識することはある(できる時もある)。	全く意識しない(できない)。
4	コミュニケーション力を身につける。 (多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)	自分と異なる意見を理解しようとすることができる。	常にできている。	心がけてはいるが、できない時もある。	意識することはある(できる時もある)。	全く意識しない(できない)。
5	専門的知識・技術の理解をする。 (専門知識・技術を基礎から理解することができる。)	DP5に属する授業科目の内容を理解できる。	かなりできた。	できないこともあった。	できないことが多かった。	できなかった。
6	強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。 (専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理解し、説明することができる。)	DP6に属する授業科目の理解に演習・実習・実験を役立てることができる。	かなりできた。	できないこともあった。	できないことが多かった。	できなかった。
7	社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。 (専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)	学外実習先の指導者の指示・要望を自分なりに理解し行動することができた。	かなりできた。	できないこともあった。	できないことが多かった。	できなかった。
8	社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。 (自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)	自分のスキルを活かして、社会のために役立つ人間になりたいと思っている。	常にできている。	心がけてはいるが、できない時もある。	意識することはある(できる時もある)。	全く意識しない(できない)。





2024年度 愛知みずほ短期大学 生活学科 養護教諭コース  
カリキュラムマップ

<b>建学の精神</b>	保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成
--------------	--------------------------

<b>ディプロマポリシー (DP)</b>	<b>1. 教養・倫理観</b>
	① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることがなく、冷静に考えることができる。)
	② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)
	<b>2. 問題解決総合力</b>
	③ 科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てることができる。)
	④ コミュニケーション力を身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)
	<b>3. 専門基礎力</b>
	⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとって深く理解し、説明することができる。)	
<b>4. 実践応用力</b>	
⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動することができる。)	
⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)	

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4. 実践応用力	
	知性を備えた心豊かな女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決できる力を身につけている。		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍するための専門分野において、自らの能力を発揮するための知識・技術等を身につけている。		専門分野をとおり、社会に貢献しようとする意識および力を身につけている。	
	① 科学的思考力	② 自律性	③ 科学的思考力の活用	④ コミュニケーション力	⑤ 専門的知識・技術の理解	⑥ 専門的知識・技術の強化・発展	⑦ 専門的知識・技術の活用	⑧ 社会的貢献性
期待される 学習成果	物事に対し、情緒に流されることがなく、冷静に考えることができる。	心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。	必要な知識や技術を活用し、心身の健康保持や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。	多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、相手の立場を尊重した行動をとることができる。	子どもの心身の健康・安全等、学校保健、学校安全に関する知識・技術を理解し、説明することができる。	講義等で得られた専門知識・技術を、演習・実習等をとおりさらに深く理解し、養護教諭として果たす役割の視点から、必要な専門力を説明することができる。	学外実習において、習得した知識・技術を活用し、子どもの心身の健康や安全意識を育てるための支援ができる。	総合的に子どもを見る力を身につけ、社会的な課題となっている子どもの健康問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。
2023年 入学生 (2年) 後期	暮らしのなかの憲法 健康・スポーツ科学	市民社会論 保育学 スポーツ ●人間関係論	●食品衛生学 元気な子どもを育てる食事 (食物アレルギーを含む。) 比較食物学 社会福祉論	英語コミュニケーション 調理実習Ⅱ	小児保健	学校救急看護Ⅱ 情報活用演習 (データ処理・解析)	養護実践演習(保健組織活動) 養護実践演習(保健室経営)	○教職実践演習(養護教諭) ●みずほゼミⅣ ○養護実習(事後指導)
2023年 入学生 (2年) 前期	暮らしのなかの心理学 食文化論 食生活論 基礎造形 ●生活文化論		食育概論 栄養学(食品学を含む。)	○教育方法 調理実習Ⅰ	●精神保健	情報活用演習(表計算) Webデザイン演習 ●みずほゼミⅢ	養護実践演習(保健管理) 養護実践演習(保健教育)	○養護実習 フードコーディネーター論 現代社会のマネジメント
2024年 入学生 (1年) 後期	データサイエンス 情報社会論	●生活経営論 女性学 笑いと健康	クリエイティブデザイン 薬理概論 ファッション ○教育行政 ○教育課程論	社会実践 ○教育相談の理論と実践 ●みずほゼミⅡ	養護概説 健康相談活動の理論及び方法 看護技術の基礎 小児保健	情報活用演習 (プレゼンテーション) 発達心理学 養護教諭開発演習		臨床実習
2024年 入学生 (1年) 前期	●みずほ教養演習 ●情報リテラシー 身近な科学 文書デザイン ○教育心理学 ○教師論 ○教育原理	養護教諭基礎演習 ●みずほゼミⅠ	●身近な統計学 ESD入門 ●衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。) 解剖・生理学 ○特別支援教育概論 ○生徒指導の理論と実践	日本語表現 ○道徳、総合的な学習の時間 及び特別活動の理論 人間と社会	学校救急看護Ⅰ 看護概論 学校保健 (学校安全を含む。)			

●卒業必修

○教職科目

2024年度 愛知みずほ短期大学 生活学科 オフィス総合コース  
カリキュラムマップ

建学の精神	保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成
-------	--------------------------

ディプロマポリシー (DP)	<b>1. 教養・倫理観</b>
	① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)
	② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)
	<b>2. 問題解決総合力</b>
	③ 科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てることができる。)
	④ コミュニケーション力を身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)
	<b>3. 専門基礎力</b>
	⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとって深く理解し、説明することができる。)	
<b>4. 実践応用力</b>	
⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動することができる。)	
⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)	

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4. 実践応用力	
	知性を備えた心豊かな女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決できる力を身につけている。		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍するための専門分野において、自らの能力を発揮するための知識・技術等を身につけている。		専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識および力を身につけている。	
	① 科学的思考力	② 自律性	③ 科学的思考力の活用	④ コミュニケーション力	⑤ 専門的知識・技術の理解	⑥ 専門的知識・技術の強化・発展	⑦ 専門的知識・技術の活用	⑧ 社会的貢献性
期待される学習成果	物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。	心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。	必要な知識や技術を活用し、人間の命や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。	多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、相手の立場を尊重した行動をとることができる。	ビジネスに求められる専門知識・技術について理解し、自ら設定した目標に関する基礎となる力について説明することができる。	講義で得られた専門知識・技術を、様々な演習・実習をとおしてさらに深く実践し、ビジネスに求められる専門的な技能としてプレゼンテーションできる。	社会実践において、習得した知識・技術を応用して、臨機応変に行動することができる。	自らの生活の場で、社会的な課題となっている健康問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。
2023年 入学生 (2年) 後期	暮らしのなかの憲法	●人間関係論	●食品衛生学	英語コミュニケーション	小児保健	情報活用演習		●みずほゼミⅣ
	健康・スポーツ科学	市民社会論	元気な子どもを育てる食事	調理実習Ⅱ		(データ整理・解析)		マーケティング実践
	基礎造形	スポーツ	(食物アレルギーを含む。)					
		保育学	社会福祉論					
			比較食物学					
2023年 入学生 (2年) 前期	暮らしのなかの心理学		食育概論	調理実習Ⅰ	●精神保健	情報活用演習(表計算)		フードコーディネーター論
	食生活論		栄養学(食品学を含む。)		ビジネス実務演習	Webデザイン演習		現代社会のマネジメント
	食文化論		調理学		マーケティング基礎論	●みずほゼミⅢ		
	●生活文化論				簿記会計Ⅱ			
2024年 入学生 (1年) 後期	データサイエンス	●生活経営論	薬理概論	●みずほゼミⅡ	秘書実務Ⅰ	情報活用演習	社会実践	
	情報社会論	笑い与健康	ファシリテーション		秘書実務Ⅱ	(プレゼンテーション)		
		女性学	クリエイティブデザイン		簿記会計Ⅰ			
					小児保健			
2024年 入学生 (1年) 前期	●みずほ教養演習	仕事と人生	●身近な統計学	日本語表現	看護概論			
	●情報リテラシー	●みずほゼミⅠ	ESD入門	人間と社会	秘書総論			
	身近な科学		●衛生学及び公衆衛生学		学校救急看護Ⅰ			
	文書デザイン		(予防医学を含む。)		メディア実践			
			社会人基礎論					
			解剖・生理学					

●卒業必修科目

# カリキュラムマップ

<b>建学の精神</b>	保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成
--------------	--------------------------

ディプロマポリシー (DP)	<b>1. 教養・倫理観</b>
	① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されことなく、冷静に考えることができる。)
	② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)
	<b>2. 問題解決総合力</b>
	③ 科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)
	④ コミュニケーション力を身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)
	<b>3. 専門基礎力</b>
	⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をととして深く理解し、説明することができる。)	
<b>4. 実践応用力</b>	
⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)	
⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)	

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4. 実践応用力	
	① 科学的思考力	② 自律性	③ 科学的思考力の活用	④ コミュニケーション力	⑤ 専門的知識・技術の理解	⑥ 専門的知識・技術の強化・発展	⑦ 専門的知識・技術の活用	⑧ 社会的貢献性
D P	知性を備えた心豊かな女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決できる力を身につけている。		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍するための専門分野において、自らの能力を発揮するための知識・技術等を身につけている。		専門分野をととして、社会に貢献しようとする意識および力を身につけている。	
学 習 成 果	物事に対し、情緒に流されることがなく、冷静に考えることができる。	心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。	必要な知識や技術を活用し、心身の健康保持や食生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。	多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、チームワークを大切に、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。	栄養士として必要な専門的知識・技術を理解し、様々な立場の人々に応じた献立および食事形態を提案することができる。	講義等で得られた専門知識・技術を、演習・実習・実験をととしてさらに深く理解し、栄養士として、必要な専門力を説明することができる。	学外実習において、習得した知識・技術を活用し、集団や個人の栄養に関する支援ができると共に臨機応変に行動することができる。	個々人に応じた健康の保持増進の理解と応用できる力を活用して、健康社会の発展に寄与する行動をとることができる。
2023年 入学生 (2年) 後期	健康・スポーツ科学 暮らしの中の憲法	市民社会論 スポーツ 保育学	食品官能評価・鑑別論(統計処理を含む)	●人間関係論 英語コミュニケーション	公衆栄養学 運動生理学	栄養指導論実習 食品学実験 調理実習Ⅱ ●食品加工学実習	○教職実践演習(栄養教諭)	フードスペシャリスト論 社会実践 ●みずほゼミⅣ
2023年 入学生 (2年) 前期	暮らしの中の心理学		食料経済	○教育方法	●公衆衛生学 ●食品衛生学 ●臨床栄養学各論	給食管理実習[学内] 食品衛生学実験 栄養学各論実習 臨床栄養学実習 栄養指導論実習 ●みずほゼミⅢ	給食管理実習[校外] ○栄養教育実習(事前・事後指導を含む。)	社会福祉論 食物アレルギー(対応食を含む) フードコーディネーター論 現代社会のマネジメント
2024年 入学生 (1年) 後期	データサイエンス	笑い与健康	●食品学各論(食品加工学を含む。) ○教育行政 ○教育課程論 ○学校栄養教育概論 薬理概論	○教育相談の理論と実践 ●みずほゼミⅡ	●臨床栄養学総論 ●栄養学各論 ●栄養指導論 ●解剖・生理学 給食実務論 栄養生理学	調理実習Ⅰ 解剖・生理学実験 生化学実験		実践栄養指導演習
2024年 入学生 (1年) 前期	●みずほ教養演習 ●情報リテラシー ●生化学 身近な科学 ○教育原理 ○教育心理学 ○教師論	●生活経営論 ●みずほゼミⅠ	●身近な統計学 ESD入門 クリエイティブデザイン ○特別支援教育概論 ○生徒指導の理論と実践	日本語表現 ○道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論 人間と社会	●調理学 ●栄養学総論 ●食品学総論 給食計画論	調理実習Ⅰ		

●卒業必修  
○教職科目

# カリキュラムマップ

<b>建学の精神</b>	保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成
--------------	--------------------------

ディプロマポリシー (DP)	<b>1. 教養・倫理観</b>
	① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されことなく、冷静に考えることができる。)
	② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)
	<b>2. 問題解決総合力</b>
	③ 科学的思考力を多角的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多角的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てることができる。)
	④ コミュニケーション力を身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)
	<b>3. 専門基礎力</b>
	⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおり深く理解し、説明することができる。)	
<b>4. 実践応用力</b>	
⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動することができる。)	
⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)	

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4. 実践応用力	
	① 科学的思考力	② 自律性	③ 科学的思考力の活用	④ コミュニケーション力	⑤ 専門的知識・技術の理解	⑥ 専門的知識・技術の強化・発展	⑦ 専門的知識・技術の活用	⑧ 社会的貢献性
D P	知性を備えた心豊かな女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決できる力を身につけている。		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍するための専門分野において、自らの能力を発揮するための知識・技術等を身につけている。		専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識および力を身につけている。	
学 習 成 果	物事に対し、情緒に流されることができなく、冷静に考えることができる。	心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。	必要な知識や技術を活用し、子どもの心身の健康保持や生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多角的な視点から最善策を導き出すことができる。	多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、チームワークを大切に、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。	保育・幼児教育についての専門的知識・技術を基礎として、子どもの視点に立った環境構成を構築し、一人ひとりに応じた支援を説明することができる。	講義等で得られた専門知識・技術を、様々な演習・実習等とおしてさらに深く理解し、保育士及び幼稚園教諭として、必要な専門力を説明することができる。	学外実習において、習得した知識・技術を活用し、子どもを取り巻くさまざまな課題に対して、適切に対応することができる。	保育・幼児教育の専門性を活かし、社会的な課題となっている子どもの諸問題を主軸とした社会への寄与を意識して行動することができる。
2023年 入学生 (2年) 後期					子ども家庭支援論	比較幼児教育論 社会的養護Ⅱ	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	子育て支援 ●みずほゼミⅣ
2023年 入学生 (2年) 前期			子どもの食と栄養		保育の計画と評価 教育方法 創造活動Ⅰ ●特別支援教育・保育	●幼児理解の理論と教育相談 保育内容指導法(環境) 保育内容指導法(健康)	教育実習 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅰ(施設)	現代社会のマネジメント
2024年 入学生 (1年) 後期	健康・スポーツ科学 データサイエンス	笑い与健康 市民社会論	●身近な統計学 ●子どもの保健 ●保育の心理学 ●幼児教育課程論	●みずほゼミⅡ	社会的養護Ⅰ 子ども家庭福祉 環境 子どもの理解と援助 ●健康	音楽 保育内容指導法(言葉) 保育内容指導法(表現Ⅰ) 保育内容指導法(表現Ⅱ) 保育内容指導法(人間関係)	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(保育所)	
2024年 入学生 (1年) 前期	●みずほ教養演習 ●情報リテラシー 身近な科学 ●保育原理 ●教育基礎論 現代教職論 教育心理学 暮らしのなかの憲法 暮らしのなかの心理学	●みずほゼミⅠ 保育実践 スポーツ 子どもの遊びと健康Ⅰ	社会福祉 ESD入門	英語コミュニケーション 日本語表現 人間と社会	●保育内容総論 言葉 表現 人間関係 乳児保育Ⅰ	音楽		

●卒業必修

表紙絵:鈴木安由美

学校法人 瀬木学園 **愛知みずほ短期大学**  
〒 467-0867 名古屋市瑞穂区春敲町 2-13  
T. 052-882-1815・1816 F. 052-882-5700  
<https://www.aichi-mizuho.jp/>